

第48回教育研究評議会議事録（要録）

平成20.5.20（火）13:30～14:40

場所：本部棟5F1会議室

出席者	浅原，上，河本，西村，吹春，河野，高田，太田，檜原，宇田川，富永，曾田，坂越，深田，富岡，清水（洋），江幡，城，田中（義），山根，佐藤，江坂，古澤，池田，平野，鈴木，鎌田，田中（久），谷口，山本，檜山，浮田，吉川， 以上評議員 33人
欠席者	二宮，岡本，越智，渡邊，吉田，黒田
オブザーバー	清水（敏），春日，坂下，戸澤，高谷，栗原，土屋，河本，西田，星野，松岡，藤井，日向野，高橋，相田，竹内

（議事）

1. 学長選考会議委員の欠員に係る選出について ----- 別紙1
（学長提案・説明）

学長選考会議委員のうち，平成20年4月1日付け評議員の交替により，1名が欠員になったことに伴う委員の選出について提案があり，選考を行った結果，富永 一登 文学研究科長 を学長選考会議委員に選出した。

なお，立会人の選出について，従前は評議員から選出していたことから，開票時間の間を評議会の議事進行等に当てるため，今回からオブザーバーから選出する旨提案があり，これを承認し，議長指名により日向野副理事が立会人を務めた。

2. 広島大学における教職大学院について ----- 別紙2
（学長提案 山根教育研究組織検討WG座長，坂越教育学研究科長説明）

第36回教育研究評議会(19.4.17)において教員養成の在り方検討WGから報告があり，教育学研究科の検討結果を待ち対応を検討することとしていた教職大学院制度への対応について，教育学研究科の将来構想を踏まえた教育学研究科教職高度化計画の説明及び，学長の下に設置した教育研究組織検討WGとしての検討結果を踏まえ，教育学研究科教職高度化計画を尊重し教職大学院の設置については見送る旨提案があり，審議の結果，原案のとおり承認した。

3. 女性教員採用割合の目標値の設定について ----- 別紙3
（学長提案 河本理事（総務担当）説明）

第46回教育研究評議会(20.3.11)において報告があった女性教員採用割合の目標値の設定について，各部局等における今後の教員採用に当たっての女性教員採用割合の目標値を設定し，女性教員比率の数値目標達成に向けて全学的に取り組むことについて提案があり，審議の結果，原案どおり承認し，設置した女性教員採用割合の目標値の達成に向け，努力していくこととした。また，女性教員の採用割合の経過については教育研究評議会へ適宜報告することとした。

（報告）

1. 広島大学創立60周年記念事業について ----- 資料1
（学長，河本理事（総務担当）報告）

第69回役員会(20.5.13)において広島大学創立60周年記念事業を実施することとした旨報告があり，事業コンセプト及び実施体制について説明があった。

また，学長から本事業は募金等を行うものではなく，同窓会大会も同時に開催できるように同窓会に出向いて働きかけをする旨報告があった。

2. 広島大学学生の氏名表記の取扱いの制定について ----- 資料2
(上理事・副学長(教育担当)報告)

本学が作成する学生の各種文書等(学位記を含む)に記載する学生の氏名表記の取扱いについて、在学中に氏名の変更が生じた学生について、旧姓使用の希望があった場合に旧姓を使用することを認める「広島大学学生の氏名表記の取扱い」を平成20年4月14日付けで制定した旨報告があった。

3. 東広島キャンパス施設整備グランドデザイン(案)について ----- 資料3
(清水理事(財務担当), 藤井副理事(施設企画担当)報告)

広島大学の施設整備上の課題を明らかにし、今後の施設整備、運営等に関する取組みを示すため、「広島大学施設整備グランドデザイン基本方針(案)」を作成した旨報告があった。また、当該基本方針に基づき、「東広島キャンパス施設整備グランドデザイン(案)」を作成した旨、併せて報告があった。

なお、本日示されたグランドデザインには、リスクマネジメント等の観点が出ており、この点については今後検討することとした。

さらに、本グランドデザインは、今後の施設の整備や運営等に関する大まかな位置付けを示すものであるため、意見については適宜提案頂きたい旨依頼があった。

4. 平成20年度営繕工事の実施について ----- 資料4
(清水理事(財務担当)報告)

全学共通運営経費の営繕経費について効果的・効率的に執行するため、平成20年度の営繕工事の計画を立案した旨報告があった。

また、部局等要求営繕については、対応、未対応のものも含めて一覧を送付する旨併せて報告があった。

5. 弾力的活用スペースについて ----- 資料5
(清水理事(財務担当)報告)

先端科学総合研究棟5階の弾力的活用スペース(レンタルラボ)を先端物質科学研究科の使用スペースとした旨報告があった。

なお、施設の有効活用を円滑に進めるためには、施設は各部局に属するものではなく、大学の資産であることを再認識する必要性から、従来の「全学共用スペース」は、今回から「弾力的活用スペース」へ呼称を変更する旨、併せて報告があった。

6. 適正な労働時間管理等の方策について ----- 資料6
(河本理事(総務担当)報告)

第47回教育研究評議会(20.4.15)において報告があった、広島中央労働基準監督署からの是正勧告及び指導を受けた事項に対する具体的に実効のある全学的な対応及び改善策について、事務研修会(20.4.25)及び法人本部組織のグループリーダーへの説明会(20.4.28)を行い、周知徹底した旨報告があった。

また、具体的方策の実施については、教員組織の理解と協力が不可欠であるため、組織内における適正な労働時間管理等について周知徹底するよう依頼があった。

(追加報告)

1. 国立大学法人における教育研究状況の評価に係る
学部・研究科等の現況調査表の作成について ----- 口頭報告1
(学長, 太田評価委員会委員長 報告)

研究の現況調査表については、学部・研究科等を代表する優れた研究業績を選定し（SS：卓越した水準，S：優秀な水準の判断基準のもの）提出することとなっているが、提出する研究業績数が多い場合には大学の自己評価が問われるとの情報を得た旨報告があり、部局において研究業績の選定の判断基準（学術面で国際的に優れているか、社会、経済文化面で具体的に社会に貢献しているか）を再度厳しくチェックしてほしい旨依頼があった。

さらに、現況調査票の目的と特徴を記載する項目において想定する関係者とその期待を記載することが求められているが、部局においては記載されていないところも見受けられる。自己評価の観点では、関係者の期待に込んでいるかの観点があるので、記載がなかった場合には評価できないこととなるので、この点についても再度確認してほしい旨依頼があった。

2. 学生支援の在り方に関する研修会の開催について ----- 口頭報告 2
(上理事・副学長（教育担当）報告)

学生支援機能の充実と向上を目指して、平成20年5月20日（火）15時から中央図書館ライブラリーホールにおいて、小貫 有紀子 日本学術振興会特別研究員 による研修会を開催する旨報告があった。

3. 「中国四川省地震」の義援金について ----- 口頭報告 3
(上理事・副学長（教育担当）報告)

中国で発生した「中国四川省地震」の義援金を募る旨協力依頼があった。

(資料配付による報告)

次の各事項については、配付資料をもって報告に代えた。

1. レンタルラボの利用者の選定について ----- 配付資料 1
(財務室)
2. 各種表彰等の受賞者について ----- 配付資料 2
(総務グループ)

以上（資料添付略）